

Prambanan

理工学部 2 年

1.概要

プランバナナ寺院群は、インドネシア・ジャワ島中部に位置するヒンドゥー教の寺院遺跡で、9世紀頃に建設された壮大な宗教建築群である。寺院はすべて石造であり、使用された石材はマラピ山から切り出された安山岩である。建設当初はヒンドゥー教の礼拝施設として利用されていたが、地震などの災害や歴史的変遷により長らく放置され、ヒンドゥー教徒の多くはバリ島へと移動した。その後、この寺院群が「人類史上における重要な建築様式と創造性の表現」であること、また古マタラム王国におけるヒンドゥー教と仏教の芸術の古典的価値が認められ、世界遺産に登録された。精巧な石造建築と彫刻は、東南アジアにおけるヒンドゥー建築の最高峰と称される。中心部にはシヴァ、ヴィシュヌ、ブラフマの三大神に捧げられた三つの主祠堂がそびえ、その周囲を多数の小祠堂が取り囲む構造となっている。プランバナナはジャワのマタラム王国によって建立されたとされ、ボロブドゥール仏教遺跡と並び、古代インドネシアの宗教文化の豊かさを象徴している。建築様式は典型的なインド様式を基盤としつつ、ジャワ固有の文化的要素も融合しており、とりわけ石彫装飾には物語性豊かな表現が強く反映されている。



2. 三大神（シヴァ・ヴィシュヌ・ブラフマ）

プランバナナの中心にそびえる三祠堂には、ヒンドゥー教の三大神が祀られている。これらは「創造」「維持」「破壊」という宇宙の三原理を司る神々である。

・シヴァ神

中央の最も高い祠堂（高さ 47m）に祀られている。シヴァは「破壊と再生」を象徴する神であり、破壊は終焉を意味すると同時に新たな創造の始まりでもある。そのため宇宙の循環を体現する存在とされる。祠堂内にはシヴァ像のほか、息子である象頭の神ガネーシャ像や、妻ドゥルガ像なども安置されている。また、シヴァ像の足に触れると幸福が訪れると信じられ、多くの参拝者が訪れる。

- ・ ヴィシュヌ神

シヴァ祠堂の右側に位置し、「維持と保護」を司る神である。ヴィシュヌは神鳥ガルーダに乗って宇宙を飛翔し、人々の善行を助け、秩序を保つ存在である。さらにラーマやクリシュナなど多くの化身を通して人間界に現れると信じられている。

- ・ ブラフマ神

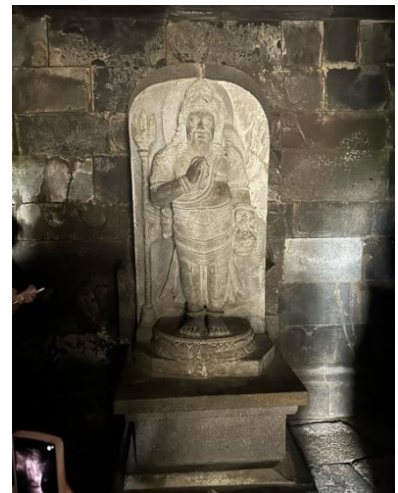
左側の祠堂に祀られている「創造」の神である。白鳥（ハムサ）に乗り、世界を形作ったとされる。一般的に他の二神に比べ信仰は少ないが、プランバナンでは立派な祠堂が設けられている点が特徴的である。



・ シヴァ神



・ ヴィシュヌ神



・ ブラフマ神

3. 建築

プランバナンはシャカ歴 778 年（西暦 856 年）に最初の寺院としてシヴァの住まいのシワグラムが建てられ、その後に総数 240 にもなる堂、祠堂が建てられた。今は災害の影響によりほとんどが崩れてしまっているが、三大神の祀られている主堂は復元がされている。これら主堂を含む第一内苑は、豊かな装飾が施されている点が特徴である。寺院の入口には魔除けの意味を持つカーラ（怪物の顔）が配置され、さらに「キナラ」と「キナリ」と呼ばれる半人半鳥の想像上の存在も彫刻されている。また、シヴァ堂とブラフマ堂の欄楯の内側には『ラーマーヤナ』物語のレリーフが、ヴィシュヌ堂には『クリシュナヤナ』物語のレリーフが刻まれ、宗教的な世界を視覚的に表現している。さらに、プランバナンのもう一つの重要な特徴として、「リング」と呼ばれる男性の象徴が挙げられる。これはシヴァ神のエネルギーと創造力を示す最も重要なシンボルであり、寺院内において神聖視されている。



・ リンガ



・ キナラ、キナリ



・ ラーマーヤナ物語

4. 災害と修復

プランバナン寺院群は、長い歴史の中で地震や火山噴火などの自然災害に 幾度も見舞われてきた。特に 2006 年のジャワ島中部地震では多くの祠堂が 大きな被害を受け、一時的に閉鎖された。修復事業はインドネシア政府の みならず、ユネスコや各国の専門家の協力のもとで進められた。その際には「アナスタイローシス (anastylosis)」という技法が採用された。これは 可能な限り元の部材を用いて当初の姿を再構成する方法であり、文化財の 真正性を維持する上で極めて重要な技術である。実際、復元部分を注意深く観察すると、金属の補強材が使われていることが分かるが、外観としては非常に精緻に再現されている。復旧活動は建築物の修復にとどまらず、地域社会の再建や観光資源としての再活性化にも大きく寄与し、現在では 多くの観光客を再び迎えるに至っている。

まとめ

プランバナン寺院群は、9 世紀に建てられた東南アジア最大級のヒンドゥー寺院であり、三大神の祠堂や豊かなレリーフ、カーラ像やリングなど多様な装飾のされた建築である。長い歴史の中で度重なる自然災害に見舞われたが、アナ スタイローシスによる修復や国際的な協力により再生を遂げた。今日プランバナンは、インドネシアの歴史と信仰を伝える文化遺産であると同時に、人類が守り継ぐべき普遍的価値を持つ存在となっている。